

科目名	国際看護学 International Nursing
科目番号	01EA008
授業形態	講義・演習
標準履修年次	1年次
実施学期・曜時限等	秋A学期 受講生との協議により定める
単位数	2単位
担当教員名	安梅勅江 Tokie Anme
ティーチングフェロー(TF)・ ティーチングアシスタント(TA)	なし TA配置あり(2人)
オフィスアワー等	4B棟508 オフィスアワーは特に定めませんが、事前連絡をしてから訪問すること。 anmet@md.stukuba.ac.jp
授業の到達目標 (学習成果)	(1)自らの実践研究の目的、方法、結果とその意義、今後行うべき研究について発表できる。 (2)自らの実践研究の、当該領域の世界の研究における位置と獨創性について説明できる。 (3)自らの発表内容に対する質問とコメントを理解し、討論の内容を以後の研究の質の向上に反映できる。 (4)他の学生の発表内容を理解し、その意義と欠点を理解し、その向上のためになる質問や討論をする。 (5)国際看護に関する法律と研究方法を理解し、適切な実践研究を企画・申請・実施できる。 (6)実践研究に関する規則と倫理学的問題点を踏まえ、適切な実践研究を企画・申請・実施できる。 (7)コミュニティ・エンバメントを理解し、推進要因と国際動向について概略を説明できる。
他の授業科目との関連	国際発達ケア特論 国際発達ケア演習
履修条件	なし
授業概要	国際的な視点からみた看護活動、人材育成、組織化、施策化を行うため、健康をめぐる世界動向と課題、国際機関及び国際協力の役割と展望を概観する。 異文化と多様性を科学的かつ論理的に分析、理解し、当事者主体の倫理に裏づけされたエンパワメント、ネットワーキング、システム構築等を活用した看護実践方法、国際協力実践方法、国際比較研究方法を学ぶ。
キーワード	国際 生涯発達 ケア
授業計画	1国際ケアの理念 2国際ケアの歴史 3国際ケアの対象 4国際ケアの方法 5国際ケアに関する量的研究法1 6国際ケアに関する量的研究法2 7国際ケアに関する質的研究法1 8国際ケアに関する質的研究法2 9国際ケア実践技術1 10国際ケア実践技術2 11国際ケア基礎演習1 12国際ケア基礎演習2 13国際ケア基礎演習3 14国際ケア基礎演習4 15国際ケア展開演習1 16国際ケア展開演習2 17国際ケア展開演習3 18国際ケア展開演習4 19国際ケアの展開 20国際ケアの展望

<p>学修時間の割り当て及び授業外における学修方法</p>	<p>講義(50%)と演習(50%)を併用する。</p> <p>指定した教科書の「いのちの輝きに寄り添うエンパワメント科学」を事前に読んでおくこと。 授業終了時に示す課題についてレポートを作成すること。 次回の授業範囲を予習し、専門用語の意味等を理解しておくこと。 復習は必ず行うこと。また、宿題を課す。</p>
<p>成績評価方法</p>	<p>レポート課題: 国際ケアと研究</p> <p>評価項目</p> <p>(1)問題の設定 A~A+: 背景がわかりやすく述べられ、問題設定が既存の研究レビューに基づいて明確にされている B: 背景の説明と問題設定が適切であり、既存研究のレビューがなされている C: 背景と設定が説明されている D: 背景、設定のいずれかが説明されていない</p> <p>(2)論旨の展開 A~A+: 論旨の組立て、展開に創意工夫がみられる B: 論旨の展開が明確である C: 論旨は理解できるレベルにある D: 論旨が不明確である</p> <p>(3)結論の導き方 A~A+: 独創性が見られ、結論には説得力がある B: 明確な結論を導いている C: 論旨の展開と結論の間に矛盾はない D: 結論は唐突である</p> <p>・Aのうち特に優れたものをA+とする ・それぞれC以上を満たすことで合格とする ・最低の評価(評点)を最終評点とする。たとえば、Aが2つ、Cが1つするとき、最終評価はCとする、など</p>
<p>教材・参考文献・配布資料等</p>	<p>いのちの輝きに寄り添うエンパワメント科学、安梅勅江、北王路書房、2016年</p>
<p>その他(受講生にのぞむことや受講上の注意点等)</p>	<p>授業中の活発な参加を期待する。</p>